

令和五年中 神田消防署 主な出来事



令和5年開催された神田祭

火災・救急の状況（神田消防署：速報値）

災害区分等			令和5年	令和4年	前年比
火災	件数 【件】	合 計	55	42	+13
		建物火災	38	33	+5
		車両火災	2	2	±0
		その他火災	15	7	+8
	焼損床面積【㎡】		63	35	+28
	死 者 【人】		0	0	±0
	負傷者 【人】		5	5	±0
	救助	出場件数【件】	113	104	+9
救護人員【人】		72	75	-3	
救急	出場件数【件】	7,633	7,063	+570	
	救護人員【人】	6,500	5,846	+654	

「救急」は神田救急隊と三崎町救急隊の合計（管外への出場を含む）

1月

神田消防団特別優良表彰受賞！



コロナ禍で活動制限を強いられる中、感染防止を最大限に配慮しながら消防訓練や普及業務を計画的に推進した結果、その功労が高く評価され特別区内で3団のみ選ばれる特別優良賞を受賞し表彰旗を授与されました。

2月

コロナ収束へ節分祭消防特別警戒実施



新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見える中、神田神社において厄除けを願う節分祭が執り行われました。3年ぶりの開催にあたり各部署が連携し、大きな事故も無く無事に祭を開催することが出来ました。

5月

「はたらく消防の写生会」開催



子供たちに消防に対する関心を深めてもらうことを目的に「はたらく消防の写生会」を管内小中学校の参加を得て実施しました。優秀作品は、管内駅舎やデパートに展示し、火災予防の広報にも大きく貢献いただきました。

7月

東京消防庁剣道大会2連覇達成



元気回復、ライフ・ワークバランスの一環で開催された東京消防庁剣道大会において、各消防署の強豪、猛者が集うなか神田署チームが見事優勝し、2連覇の偉業を達成しました。神田消防署の士気高揚の一翼を担いました。

9月

職場の安全・安心対策 自衛消防訓練審査会開催



9月15日に神田消防署管内22事業所26隊が参加し自衛消防訓練審査会が開催されました。コロナ禍により4年振りの開催となった今年は参加事業所の実態に即した実践的な訓練を行い、各事業所も事前訓練を積み重ね、遺憾なく訓練の成果を発揮していました。

11月

神田消防少年団 青少年団体の模範として表彰



コロナ禍を経て継続して青少年を健全に育成するために積極的に活動した功労が評価され「令和5年度東京都青少年健全育成功労者等表彰」を受賞しました。東京都下の消防少年団で2団だけが選ばれ受賞した荣誉ある賞です。

11月

有過失事故2年間なし！総監賞受賞



毎日、消防車両を運行し続けている中で署員一丸となって安全運転に取り組んできた結果、2年間有過失事故が発生させなかったことが評価され消防総監賞を受賞しました。

12月

2部大隊警防部長賞受賞



10月30日に実施された第一消防方面大隊消防活動審査会において神田消防署2部大隊が出場し、大隊長を核とした、安全確実な部隊行動を審査されました。

緊急事態発生時の状況判断と連携要領が評価され、警防部長賞を受賞しました。

年中

救急出場件数が過去最多を更新！



令和5年中の救急出場件数は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も増加を続け、917,472件（速報値）と過去最多であった昨年の872,075件より約4万5千件増加しました。増え続ける救急需要に対し「非常用救急隊編成」「PA 連携」「救急車ひっ迫アラートの発令」を実施しています。現在も挙庁体制で対応しているところです。

年中

火災件数増加「死者ゼロ」を継続中

過去10年の 件数等	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	合計
火災件数計(件)	40	38	48	43	44	59	28	27	42	55	424
建物火災(件)	28	27	39	31	31	42	19	18	33	38	306
建物以外(件)	12	11	9	12	13	17	9	9	9	17	118
焼損床面積(㎡)	46	75	89	425	36	60	0	5	35	63	834
死者(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
傷者(人)	0	9	13	5	2	14	2	0	5	5	55

神田消防署管内の火災件数は、コロナ禍では減少傾向でしたが、行動制限が解除され、人々の活動が活発になるとともに、本年の火災件数は55件と一転して増加しました。

幸いにも火災による死者は平成22年8月を最後に発生しておらず、現在も更新中です。